

農地防災ダムの効果について（平成26年8月4日から5日の降雨）

道営防災ダム事業 かみこがわ 上小川地区

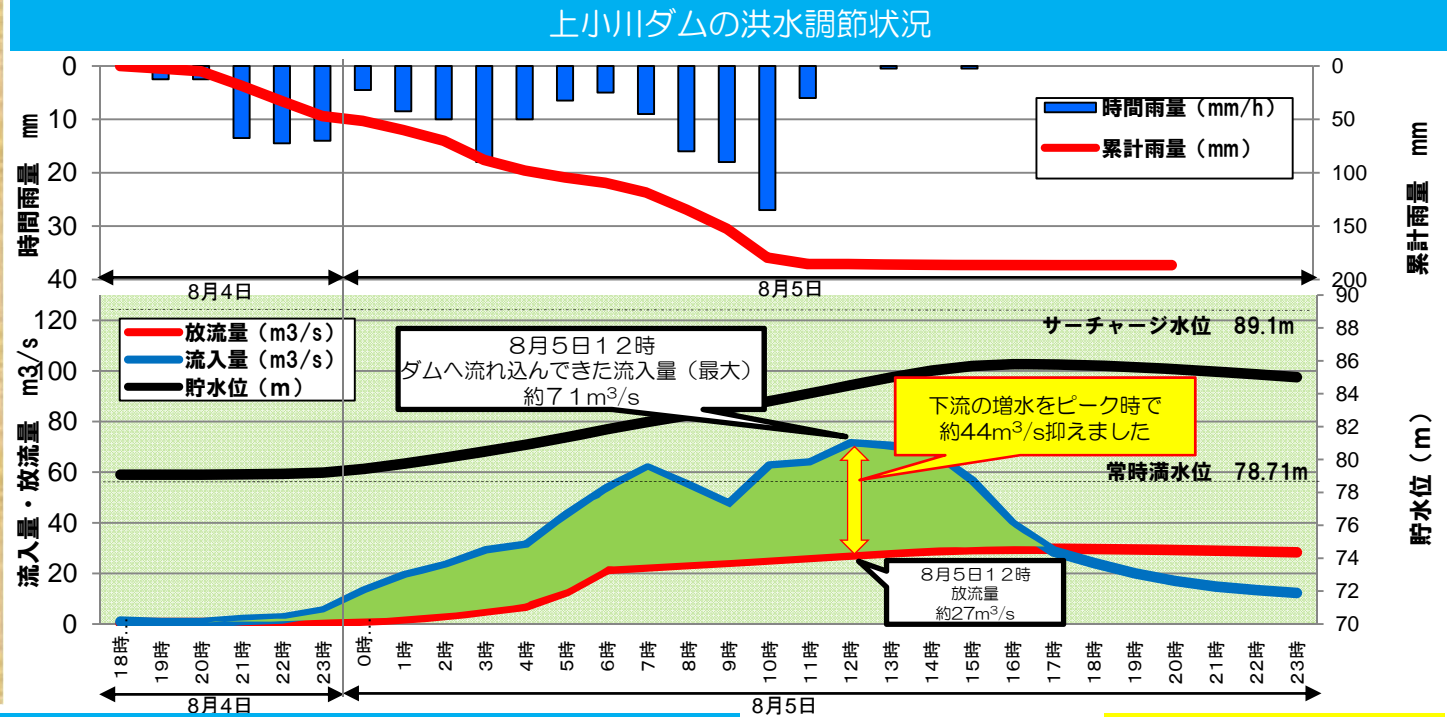
北海道留萌振興局産業振興部農村振興課

- 平成26年8月4日から5日、前線を伴った低気圧の通過による豪雨により、北海道留萌中部地域に激しい降雨が観測されました。
- 上小川ダム流域においては、累計雨量186.5mm(8月4日18:00~8月5日20:00)※ 最大時間雨量27mmを記録しました。
- 上小川ダムで約176万m³を貯留(貯水率:64.0%<通常時に比べて47.6%上昇>)しました。
- 流入量がピーク時(8月5日12時頃)において約71m³/sに達し、その時のダムからの放流量は約27m³/sと流入量の6割程に相当する約44m³/sがカットされ、下流の洪水被害の軽減を図りました。
- ダムの下流域では、約2.5mの水位を低減させる効果があったものと推測されます。

※ 累計雨量 186.5mmは、昭和61年からの上小川ダム流域における観測上最高を記録。

事業概要

事業名	道営防災ダム事業
地区名	上小川地区
関係市町村	北海道苫前郡苫前町
総事業費	8,712百万円
事業工期	昭和49年度~平成15年度
受益面積	371ha
主要工事	ダム 1基
事業主体	北海道
管理者	北海道



上小川ダム：下流域における水位低減効果

平成26年8月の降雨による下流域の増水状況 (湛水被害なし)

累計雨量 186.5mm
最大時間雨量 27mm



平成26年8月



平成11年7月

ダムができる前の平成11年7月の降雨による下流域の増水状況 (湛水被害あり)

累計雨量 151mm
最大時間雨量 30mm



流入量がピーク時の貯水状況
8月5日 12時頃